

ツガカレハ

秋や春にトドマツの葉を食害する大形の毛虫（幼虫）。最大長約80mm。体は茶色から灰色、背中の方の方に黒い短毛がまとまって生える部分が2カ所ある。また、体の横の下の方に白く長い毛が密生する。

森林や防風林のトドマツで多発し、ときに木を枯らすことがある。



1. 中齢幼虫.



2. 老齢幼虫, 1980/6.



3. テープ巻きによる駆除. 1976/5. 北見市.



4. 繭. 1976/8. 北見市.

【学名】 *Dendrolimus sperans*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , カレハガ科 (Lasiocampidae)

【分布】 北海道, 本州, 四国, 九州; 千島, サハリン, シベリア東部, ウルグアイ.

【生態】

宿主：トドマツ, エゾマツ, トウヒ, カラマツ, アカマツ, クロマツなどの針葉樹に寄生する。トドマツやエゾマツ類以外では発生量は少ない。

成虫である蛾は7～8月に出現する。卵は針葉上に並べて産み付けられる。孵化した幼虫は葉を食べて40mm程度まで成長し、晩秋には地上に降りて落葉中で越冬する。翌春、雪が溶けるとすぐに樹上に登り、食害を開始する。7月に幹や枝上に繭を作って蛹になる。

发育ステージ	～3月	4	5	6	7	8	9	10	11～
幼虫（越冬）	+++	+..						...++	+++
幼虫（摂食・成長）		..■■■	■■■■■	■■■■■■■■	■■■■■	■..	
蛹				..	◇◇◇◇	..			
成虫・卵					..○○	○..			

【被害】

従来、道内での被害は網走東部地方の山地に限られていたが、最近は道東の低地のトドマツ林で被害が観察されている。多発した場合、秋から食害が目立ち、翌春に激しい食害が起きるのが普通である。ときに秋の内から林が丸坊主になることもある。幼虫に触ると体毛が皮膚に刺さることがある。

なお、アカマツやクロマツではよく似たマツカレハが多発することがある。

【防除】

秋に幼虫の食害が目立つようなら、幹にすべりやすい幅広いテープを隙間のないように巻く（写真3）。春に登ってくる幼虫はすべって木に登れない。ササなど下草より高い位置に巻くこと。また、トドマツに隣接する他の樹木にも巻く。

【文献】

- *1977. 東浦康友. 北海道北見地方におけるツガカレハの大発生, IV. 防除基準. 森林防疫, 26: 141-142.
- *1977. 東浦康友. 北海道北見地方におけるツガカレハの大発生, VII. 個体数の推移と被害. 森林防疫, 26: 195-197.
- *1977. 上条一昭. 北海道北見地方におけるツガカレハの大発生, II. 北海道および旧樺太における大発生の歴史. 森林防疫, 26: 137-138.
- *1977. 上条一昭. 北海道北見地方におけるツガカレハの大発生, VIII. 寄生性昆虫. 森林防疫, 26: 198-199.
- *1977. 小泉力, 東浦康友. 北海道北見地方におけるツガカレハの大発生, VI. 越冬幼虫の齢期. 森林防疫, 26: 163.
- 1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真).
- 1994. 福山研二. ツガカレハ. 小林富士雄, 竹谷昭彦, 編集, 森林昆虫, 総論・各論: 271-273. 養賢堂, 東京.

*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます。

kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/24.

yochu1.jpg, kuzyo.jpg, mayu.jpg

「写真 1, 3 ~ 4」 上条一昭, 北海道立林業試験場, 1976.

yochu2.jpg

「写真 2」 鈴木重孝, 北海道立林業試験場, 1980.